

令和3年度 決算を報告します

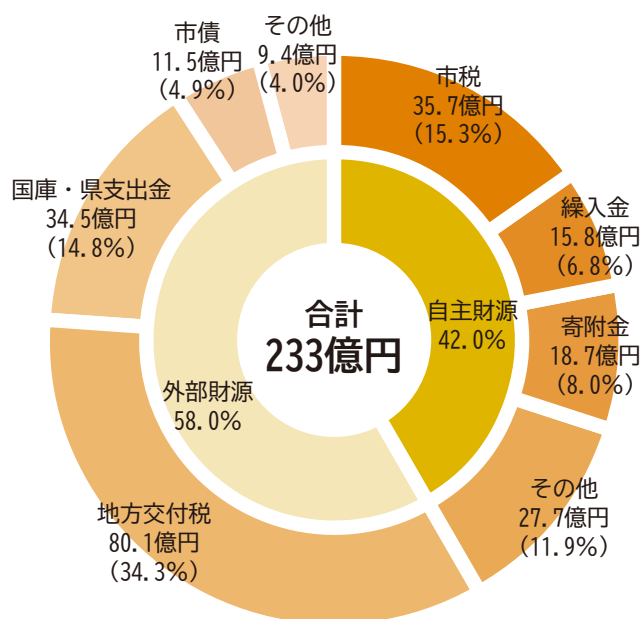
記録的大雪やワクチン接種など生活に影響



令和3年度の決算は、前年の国民一人あたり10万円給付事業が終了した反動で、対前年比決算額は大きく減少しました。また、記録的な大雪による除雪経費に加え、ワクチン接種の本格化などで多額の事業費となりましたが、国からの支援もあって、大幅な**黒字**となりました。

歳入 233億円 - 歳出 214億円 - 翌年度繰越金 = 15億円の黒字

一般会計 歳入 前年比16億円(6%)減少



歳入の前年比較

国庫・県支出金 -24億円(-41%)

- ・特定事業に国や県から交付されるお金
前年の国民1人あたり10万円給付の皆減に加え、新型コロナウイルス対策の交付金が減少しました。

地方交付税 +3億円(+4%)

- ・行政サービス水準確保のため国から交付されるお金
国の補正予算に伴って追加交付されたほか、大雪に伴う除雪費用を大幅に支援いただけました。

繰入金 +2億円(+17%)

- ・貯金(基金)を取り崩したお金
過去最高額となった除雪費用の財源として、活用しました。

寄附金 +3億円(+20%)

- ・ふるさと納税寄附金や市内外からの寄付
ふるさと納税として全国からご寄付を賜り、過去最高額となりました。

市内事業者のみなさんの努力でふるさと納税18億円突破！



令和3年度にご寄附いただいたふるさと納税は地域振興・観光・防災や福祉・子育て支援などさまざまな事業に活用されています。事業数は127にも上り、飛騨市の財政と暮らしを支えています。



学校給食メニュー向上

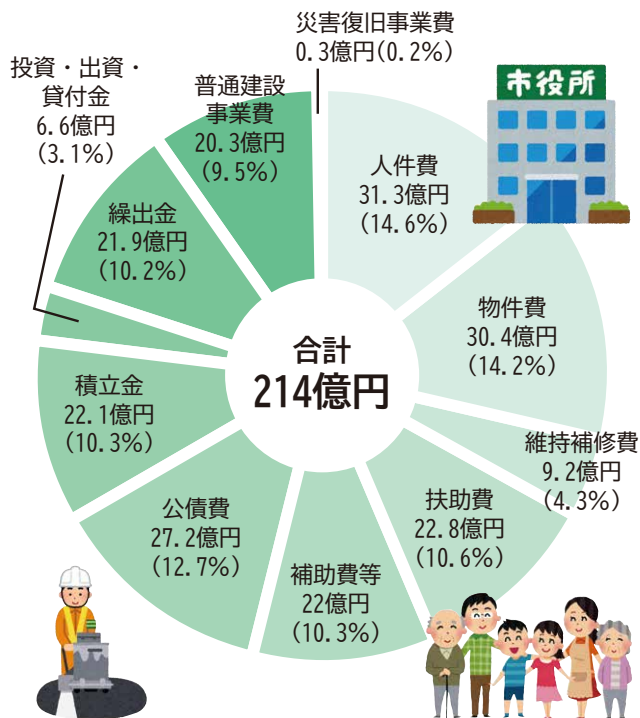


クラシックコンサートの開催



医療・介護・福祉の人材確保

一般会計 歳出 前年比2億円(9%)減少



歳出の前年比較

補助費等 -26億円(-54%)

- 個人や団体への負担金、補助金など
前年の国民1人あたり10万円給付の皆減によるもの。

普通建設事業費 -7億円(-27%)

- 道路や公共施設の整備費用など
災害復旧事業の終了や多機能型障がい者支援施設など大型ハード事業の完成による反動。

扶助費 +4億円(+26%)

- 児童手当や生活保護、障がい者支援に対する給付
子育て世帯等に児童1人あたり10万円の給付や非課税世帯に10万円を給付するなど国の事業によるもの。

維持補修費 +2億円(+29%)

- 公共施設の修繕や道路除雪費など
記録的な大雪による道路除雪や消雪装置の費用など過去最高額となりました。

災害復旧事業 -2億円(-87%)

- 自然災害により被災した施設の復旧費用
平成30年、令和2年の豪雨で被災した道路や農地などの復旧が完了した反動。

特別・企業会計の状況

すべての会計で黒字となり、健全な事業運営が行われています。

特別会計		歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
特定の事業を行うため一般会計とは別の会計  	国民健康保険	29億795万円	28億1,824万円	8,972万円
	後期高齢者医療	4億1,638万円	4億1,213万円	426万円
	介護保険	33億4,121万円	32億468万円	1億3,653万円
	公共下水道事業	10億4,697万円	10億4,487万円	209万円
	特定環境保全公共下水道事業	1億7,099万円	1億6,897万円	202万円
	農村下水道事業	3億1,729万円	3億1,218万円	510万円
	個別排水処理施設事業	1,430万円	1,327万円	103万円
	下水道污泥処理事業	1億5,258万円	1億5,257万円	1万円
	駐車場事業	538万円	532万円	5万円
	情報施設	2億9,591万円	2億8,753万円	839万円
	給食費	3,359万円	3,342万円	17万円
	計	87億255万円	84億5,319万円	2億4,936万円
公営企業会計		収入決算額	支出決算額	資金剰余額
地方公営企業法の適用を受けて営利的事業を行う会計	水道事業(収益)	5億3,793万円	4億7,951万円	12億3,843万円
	水道事業(資本)	5,458万円	3億900万円	
	国民健康保険病院事業(収益)	16億2,736万円	15億8,258万円	15億6,744万円
	国民健康保険病院事業(資本)	1億3,614万円	2億813万円	
	計	23億5,601万円	25億7,922万円	28億587万円

※それぞれ四捨五入した表記としているため、数値が一致しない場合があります

令和3年度を振り返る

令和3年度予算で実施した特色ある事業の一部を紹介します

新型コロナウイルス対策（決算 15 億 562 万円）



まるごと大売り出しほか 経済対策事業 (4,456万円)

商店・飲食店・タクシー事業所でさるぼコインを利用した額の20%分のポイントを還元。大売り出し142店舗、食べ歩き84店舗で2億円の経済効果。祭り縮小や自粛ムードにより落ち込んだ市民の気持ちを元気づけ、チラシにより商店等のPRを市内外に図るとともに、買い回り・食べ歩きボーナスで市内消費を促進

国給付金にあわせた 子育て世帯応援事業 (1,076万円)



子育て世帯の応援と市内消費促進のため、さるぼコインを利用した15%ポイント付与。0.9億円の経済効果

ワクチン接種体制の 整備 (1億9,917万円)



ワクチンの供給に合わせ、接種券を5月上旬から順次発送し、2回目接種は12月中旬にほぼ終了。接種延べ49,522人

無症状者に対する PCR検査 (3,329万円)



無症状だが感染に不安を抱えている方や社会経済活動の再開に向けて利用しやすい検査体制を整備し、1,904名利用

まちなか簡易 検査センター (651万円)



抗原定性検査キットを活用した簡易検査センターの整備。8月中旬～3月末で5,123名利用

感染対策の指導 (339万円)



指導員20名による飲食業・宿泊業を対象にした感染防止対策の指導助言。202店舗に換気啓発やアクリル板を設置

電子図書の導入 (400万円)



在宅にてインターネットを活用して利用できる電子図書1,100冊を整備し、多くの方が利用

市営バス等の運行事業 (1億6,739万円)



令和3年9月末終了の神原峠線の実証実験の利用状況を分析し、令和3年10月に新たに神原線の運行を開始

地域生活安心支援センター 「ふらっと」の開設 (719万円)



日々の暮らしの生きづらさや心配ごとを抱える方のさまざまな相談をワンストップで受け付ける窓口を開設

出会うの機会提供 結婚支援事業 (329万円)



コロナ禍に対応する形でのオンライン婚活イベントを2回実施し、未婚市民の6名がカップリングに至る

飛騨市産直市 そやなの整備 (5,757万円)



朝開町農産物直売施設の代替施設として、令和3～4年度で上町に新たに農産物直売施設「そやな」を整備

鳥獣被害対策 (756万円)



クマ15頭など計379頭の捕獲頭数に応じた助成金や、市民3名に対する狩猟免許及び猟銃取得助成

魅力ある公園の整備 (3,575万円)



安心・安全で魅力ある公園を目指す。令和4年秋に杉崎公園の遊具リニューアル工事が完成予定

神岡小学校 大規模修繕 (1億4,017万円)



外壁改修を中心とした神岡小学校の大規模改修工事（令和3年度からの2カ年計画）のうち、校舎西側を工事

除雪事業 (8億8,240万円)



令和3年度は記録的な降雪量となり、除雪出動回数は多い地区で54回となった

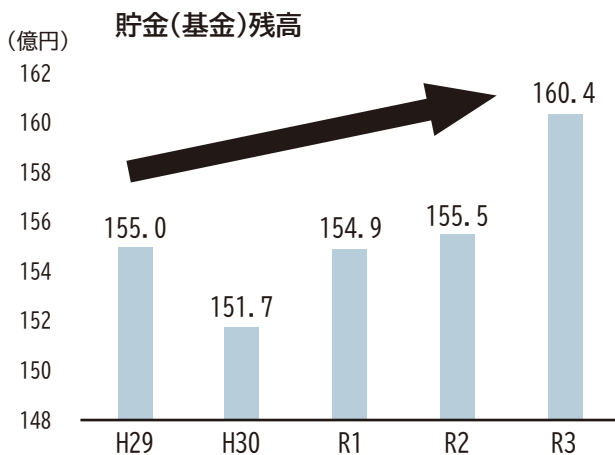
POINT!!

飛騨市の貯金は増加、借金は減少

貯金(基金)

令和3年度は、特定目的基金の中でも公共施設管理基金を活用して市庁舎における電話交換機設備更新やゆうわ〜くはうすの空調設備整備、流葉スキー場・河合スキー場のリフト等の整備を行うとともに、有線テレビ放送施設基金ではケーブルテレビ民間移行負担金への活用、また福祉事業基金では障がい者グループホーム等整備事業を実施しました。

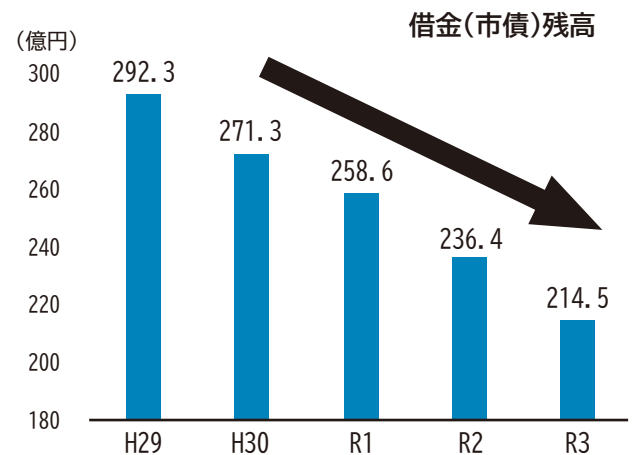
積立基金総額は4億円増加し、過去最高の基金残高となりました。



借金(市債)

令和3年度に発行した主な市債は、道路新設改良事業や住宅性能向上リフォーム補助事業、屋内運動場整備事業などに充てた過疎対策事業債5億1,760万円、神岡小学校大規模改修事業に充てた防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債6,980万円、臨時財政対策債4億1,723万円などがあります。

市債残高は平成24年度をピークに9年連続で減少しています。



健全財政を保っています

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、市の財政状況を判断するための指標を公表します。当市では、令和3年度も全ての項目で国の定める健全化基準を下回っており、財政の健全性が保たれています。今後も、将来を見据えた堅実な財政運営に取り組んでいきます。

	R3数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.15%	20.0%
連結実質赤字比率	—	18.15%	30.0%
実質公債費比率※	13.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	
資金不足比率	—	経営健全化基準 20.0%	

※実質公債費比率…借入金の返済額などの大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの



監査意見総括

本市の財政は、健全な状態は維持されているものの、今後の人口減少に伴う地方交付税の見直しなど依存財源が抑制される傾向にある。自主財源確保に向けた積極的な取り組みや行財政の効率化に努め、健全かつ公正な財政運営を強く望むものである。

8月23日 意見書を都竹市長へ提出する島田哲吉代表監査委員と葛谷寛徳議会選出監査委員 ▶

